

# 早島町議会だより

令和3年  
6月1日 第72号

## CONTENTS

新体制スタート	2P
教育長の問責を決議	3P
新型コロナ町独自支援策	4P
新年度予算可決	6～7P
委員会調査活動の推進	8P
ここが聞きたい一般質問	9～16P
わがまちのニューフェイス	18P

かわいいね、うさぎさん  
(ふれあいの森公園キャンプ場にて)

# 早島町議会の 正副議長が交代しました。

3月29日、早島町議会 船越 健一 議長および佐藤 智広 副議長の辞職にともない、正副議長選挙が行われ、議長に平岡守議員、副議長に根木一議員を選出いたしました。

新体制のもと、議員一同、議会改革、綱紀粛正にとりくみ、町民の皆さんに開かれた議会をつくります。

**選挙結果** ▶ 議長選挙 平岡守氏…… 9票 / 無効票……1票  
副議長選挙 根木一氏……10票 / 無効票……0票

## 議長就任あいさつ



平岡 守

町民の皆様には、平素から町議会に對しまして深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、議会の信頼に関わる中での臨時議会におきまして、議長という大役を担うことになり、身の引き締まる思いと同時に、そ

の責の重さを痛感しているところでございます。

また、町民の皆様のご信頼を損なう事となりましたことに対し、議会を代表して深くお詫び申し上げます。

今後は、新体制のもと、町民の信頼を回復すべく、襟を正し、議会議員全員で、モラルの徹底を図り、町民のために議会改革に全力で取り組んでまいりたいと考えております。

さて、早島町では、第5次総合計画の策定を進め、今後10年にわたっての町のビジョンを描こうと

## 副議長就任あいさつ



根木 一

3月の議会臨時会におきまして、議員の皆様のご御推薦により、副議長に就任いたしました根木一です。

議員としての経験は浅く、その責任の重さに身が引き締まる思い

であります。今後は副議長の職務を遂行すると共に、議長の補佐役として町政の推進と、公正かつ円滑なる議会運営に努めていく覚悟でございます。

さて、とても厳しい財政状況のなか早島町を取り巻く環境は新型コロナウイルス対策・福祉・教育の充実、そして地方創生の取り組み等、重要な課題が山積しております。

更には、地方分権の進展に伴い

してまいります。また町民皆様の念願でありました早島駅周辺バリアフリー化と地域拠点施設整備事業、国道2号線の渋滞対策などが動きだしております。私たち議会は、町民の幸せ、そして早島町の発展のために、町執行部ともしっかりと向き合ってまいりたいと思っております。町民の皆様にとつて身近で開かれた議会を目指して、誠心誠意努めてまいります。

今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

議会の役割と責務が拡大し、責任ある議会活動が求められています。議会は二元代表制のもと、行政に対する監視機能をしっかりと果たすことはもちろんであります。が、町民の皆様の声をお聞きしながら、皆様の安全と安心を確保し、議会の総合力を発揮できるように、全力で頑張る決意です。

今後とも、町民の皆様の一層のご指導、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。副議長就任のご挨拶とさせていただきます。

## 教室不足、法令遵守を問う

## 教育長問責決議を「可決」

3月定例会は3日から18日までの15日間の会期で開催されました。議会最終日に「徳山順子教育長に対する問責決議」が平岡守議員より提出され、賛成多数で可決されました。

また令和3年度当初予算、条例改正など計25議案が審議され、一般会計予算に対する付帯決議が採択され、他議案については全会一致で原案どおり可決されました。

## 問責決議に対する討論

## 反対 根木 一 議員

この問責決議が承認され、教育長が辞任した場合、どのように説明されるのか。後任の教育長は考えられているのか。町長に任せるといふのでは無責任ではないか。

## 反対 佐藤 辰美 議員

私はここで問責決議を出して非難するよりも、発生源対策を提案して、その次に注意して厳しく対応する等、メリハリのついた議会になることを切望する。

## 賛成 古田 敬司 議員

教育長の尽力には一定の評価をするが、社会教育施設である中央公民館の建て替えや義務教育学校の問題は、財政的な裏づけがない中で進められており、関係者に対する配慮が不足している。

## 賛成 細田 貴道 議員

法令遵守に基づく職務執行に関し、何度も問題点が見えた。議会として見過ごすのは難しい。

また、職員の管理にも不十分さを感じる。

## 徳山順子教育長に対する問責決議

徳山順子教育長が就任以来、学校教育ビジョンの推進の中で様々な努力を行ってきたことについては一定の評価はするが、以下の課題を放置してきた教育長の責任は、議会として看過できない。

教育長は、長年にわたって議会から教室不足を指摘されていたにもかかわらず、「当面問題がない」と放置してきた。しかし、令和3年度に学級数の増加が現実のものとなり、教室不足を急遽コロナ対策での支援学級の分割によって対応せざるを得ない状況となった。

義務教育学校については、上位計画に位置づけられていないにもかかわらず、義務教育学校検討会を開催してきた。本来は全町で議論を行うべき課題であるが、議会には全く説明が行われておらず、令和3年2月になり、はじめて「中学校地へ5、6年生を通わせる」という案が議会に示された。その中でも『納税者から見た評価』といった取りまとめ内容について現実に調査を行っていない“想像”の指標が並べられている等、実態とは異なっており、他の部

署との意思統一や説明責任を怠ったことと併せ、議会に対する背信行為と言わざるを得ない。

義務教育学校については、子どもたちに多大な負担を強いる妥協案ではなく、総合教育会議で最も良いとされた『小中一体型』を視野に入れ、将来にわたる財政計画を見通すことと併せて町全体で行財政改革に取り組んでいただきたい。

また、教育委員会が所管するイ草栽培保存事業イ草田は契約更新が長年にわたって滞っている等、農業委員会や議会からその違法性がたびたび指摘されてきたにもかかわらず、半年間放置されてきた。

教育長にその職責を厳しく問い、猛省を促すとともに、法令を必ず遵守し、他者の意見も尊重しながら、本来の職責である学力向上や教室不足の解消、町学校教育ビジョンの推進、そして教育委員会事務局職員の管理・監督に全力を傾注されることを求め、問責決議とする。

令和3年3月 早島町議会

# 新型コロナ・ワクチン接種 町独自支援策

関連予算可決

## コロナ対策の主なもの

### ① ワクチン接種 ー 約 4,200 万円 (事務費、接種費など全て含む)

65歳以上の町民を対象に接種を開始します。(その後、その他の町民の皆さんへ随時実施予定です)

5月10日より個別接種の予約を開始し、5月17日から個別接種の開始(予定)、集団接種は6月より実施(予定)です。

### コールセンターの開設

ワクチン接種等に対するお問い合わせのためのコールセンターを開設しています。【電話番号 086-482-0619 受付時間 8時30分～17時15分】

### ② 町内業者への支援策 ー 約 2,010 万円

マスクや消毒液、アクリルボード、加湿器等の資機材や設備購入費に対して10万円を限度として2/3を補助。

### ③ 交通系 IC カードの配布 ー 約 3,180 万円

町内飲食、小売店、JR等で利用できる16歳以上の町民を対象にひとり3,000円のICOCAを配布。



3月定例会及び、3月29日開催した臨時会において、新型コロナ・ワクチン接種、コールセンターの設置、事業者支援策などを盛り込んだ補正予算を全会一致で可決しました。

## 人事案件

教育委員の選任(新任)

市橋 晃 氏

Q: 地方教育行政の組織及び運営に関する法律には、教育委員は「教育、学術及び文化に関し識見を有するもの」とあるが、どのような識見をお持ちの方なのか。

A: 学校教育課長 教育に熱心な方だ。

Q: どのように熱心な方なのか。

A: 学校教育課長 家庭教育に熱心な方だ。  
幼稚園行事に積極的に参加されている。

## 意見書の可決

『国立病院の機能強化を求める意見書』

コロナ感染拡大によって日本の医療体制のせい弱さが浮き彫りとなった。国立病院の機能強化と、医師、看護師をはじめとする職員の増員を求める

## ●3月定例会 採決状況

○賛成

×反対

議長(船越健一)は採決に加わらない。

議案	平岡 守	古田 敬司	佐藤 智広	真鍋 和崇	細田 貴道	佐藤 辰美	林 郁夫	根木 一	佐藤 博文	議決結果 (賛成: 反対)
発議第4号 徳山順子教育長に対する問責決議について	○	○	×	○	○	×	○	×	○	可決 (6:3)

他、議案は全会一致で可決。

## 町債権管理の方針を明確化―管理条例を制定

総務厚生常任委員会

Q…条例の目的・狙いは

A…相続人が不在の場合、町は債権を放棄できることを明確にした。

Q…町の債権とはどんなものを指すか。

A…町営住宅使用料や土地借料等が当たる。

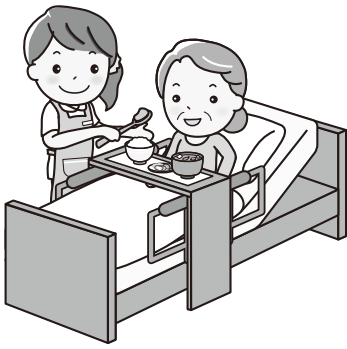
Q…生活困窮世帯の税、学校給食など滞納の差し押さえについては慎重に判断されたい。

### ◆町介護手当支給条例の改正

「ねたきり老人」を「ねたきり高齢者」に「痴ほう性老人」を「認知症高齢者」に改める。

Q…「ねたきり」の表現は適切か。

A…わからない。



### ◆所管事務調査を実施しました

○地域包括ケアの構築について

現在懇話会で検討を進めており、現在のところ諸問題は報告されていない。地域包括支援センターの体制の確立を併せて求めた。

○外出付き添い事業について

高齢者の外出の付き添い事業をボランティアを募り実施するもの。当面は試行として実施し、課題を精査し議会に報告をされたい。

## ふれあいの森公園リニューアル工事を実施、指定管理委託へ

産業文教常任委員会

Q…公園リニューアル後の駐車場の確保は大丈夫か。

A…駐車可能台数が40台から45台に拡大することができた。

Q…今後の設備の充実は。

A…キャンパススペースの確保やドックランの整備等、指定管理者と協議しながら充実を図る。

### ◆ニュー早島団地内道路を町道に移管

Q…道路の規制は

A…今後、警察と協議する。

### ◆所管事務調査を実施しました

修繕や改良が必要な町道や町南部農地の水路整備など現在の状況を確認し、議会として、予算の確保と迅速な対応を求めた。

## コンビニ納付、スマホ決済事業 10月に実施予定―3月補正予算を審議

予算審査常任委員会

Q…住宅使用料の増加理由は。

A…新規入居による増加だ。現在70戸のうち空きは2戸のみ。うち1戸はコロナ対策のために備えている。

Q…庁舎の電気代は、LED化に伴いどの程度減ったのか。

A…約50%。350〜400万円程度減額させることができた。

Q…コンビニ納付・スマホ決済導入事業の導入時期は。

A…10月頃となる見込み。

Q…小学校の外壁修繕工事6600万円があるが、全体の修繕工事の規模はどの程度になるのか。

A…総額ははっきりとわからない。



■ 予算審査常任委員会

令和3年度

予算総額 91億2226万円

3月定例会において予算審査常任委員会を3日間にわたり審議し、令和3年度予算を可決。また付帯決議が提出され、全会一致で採択された。

一般会計予算付帯決議を採択

① コミュニティバス運行事業他

本町の公共交通の将来的な方向について、町外移動タクシー助成事業及びコミュニティバス事業等の公共交通の在り方を検討した全体計画の策定を行うこと。なお、町外移動タクシー助成事業については十分な検証が得られていないと考える。令和3年度は試行での運転とし、移動目的等の詳細情報を採取し、併せて他の類似事業との整合性について検討を行うこと。

② 教室の確保について

人口動向や町総合計画及び各種計画を踏まえつつ、教室の確保について検討を行うこと。

\* 付帯決議とは

国会や地方議会において議決された法案・予算案に関して付される、施行についての意見や希望などを表明する決議です。法律的な拘束力を有するものではないが、議会と町長等の信頼関係において、町長等はこれを尊重することを議会が求めるもの。

主な質疑

Q…庁舎等駐車場整備事業3千万円の内容は。

A…庁舎敷地に隣接する町有地の護岸工事に2千万円、舗装工事に1千万円。

Q…新型コロナウイルスの影響による収入減は

A…個人町民税は前年度比96%程度、法人税は1割減を見込んでいます。

Q…歳入をどのように確保しているのか。

A…国の補填を見込んでいる

Q…シルバー人材センターの運営を問う

A…年度末登録者数119名、準公金の扱いでダブルチェック体制のもと月1回財務報告を受けている。

Q…犯罪被害者等支援の内容は

A…警察が認定し、本年度から新たに設ける。

Q…地域活動支援センターへの職員委託について

A…総会后、会計年度任用職員でなくNPO法人職員として採用する。

一般会計は過去最大  
前年度比4.1%増の  
53億2800万円

議会が  
注目

# 主要事業を現地視察



## 町道一号線道路改良工事

早島インターチェンジに隣接する下野地区（新産業拠点）で骨格となる道路面整備を行う。

## 小学校外壁修繕

国の補助を受けて、非構造部材を対象に校舎の外壁修繕工事を行う。



## ふれあいの森公園の 駐車場他整備

地域再生計画に基づき、ふれあいの森公園キャンプ場整備工事等を実施する。また、ふれあいの森公園は本年4月から指定管理者制度を導入することにより、民間の活力を活かし、魅力的な公園づくりを行うことで公園利用者の増加を図る。



## 県道倉敷妹尾線に接する 下野地内擁壁劣化補修



下野地内町有地の擁壁について、経年劣化によるひび割れが発生し、危険な状態であることから維持補修を行うもの。

なお、維持補修に係る工事は、隣接する本州四国連絡高速道路の耐震補強工事にあわせて実施する。

## 民俗資料館整備事業

戸川家記念館の2階に、民具等を展示するスペースを整備し、当館の展示内容の充実を図る。



## あいつぐ不祥事に対する責任を追及 町長等の給与を削減

町長給与を10%  
5か月間の削減

昨年末、町会計年度任用職員によるNPO会計からの金銭着服事件が発覚しました。町長就任以来、不祥事が5件発生しており、議会としてその責任を厳しく問うとともに、再発防止を強く求めています。

当初は町長・副町長とも3か月の減給案となっていたが、町長の責任の重さを鑑み、議会で協議を行った後、町長10%5か月、副町長10%3か月の給与を減額する条例を全会一致で可決しました。

なお相次ぐ不祥事対応について、議会内に内部統制調査特別委員会を設置し、審議を行っています。

# 住民参画・議員間討議

## 委員会調査活動の推進

### ◆議会基本条例の実践的な取り組み

早島町議会では、平成30年8月の改選期を契機に、議会の活性化、議会改革をすすめるため『議会活性化特別委員会』を立ち上げました。

具体的な取り組みとして愛育委員会、栄養委員会、老人クラブ連合会、保幼小中連絡協議会、自治会等、各種団体の皆さまとの意見



活発な意見交換会（若宮・大谷荘）

交換会や住民アンケートの実施。昨年は、住民の皆様からの要望や提言、その他の意見を広く聴取し、町議会の運営等に反映させ、町議会の円滑かつ民主的な運営を推進することを目的に議会モニター制度を設立。更に、議員間討議、委員会の所管事務調査活動等、新たな取り組みを実施してまいりました。

実はこれらは今から8年前、『開かれた議会をつくる』ことを目的に制定した『議会基本条例』の実践的な取り組みに他なりません。

### ◆目指すのは住民福祉の向上

山梨学院大学教授の江藤俊昭先生は「議会基本条例制定の最も大きな意義は『新たな議会の創造』とし、①閉鎖的な議会から住民に開かれ住民と歩む議会。②質問・質疑だけの場から議員間討議を重視する議会。③それらを踏まえながら追認機関ではなく首長等と政策競争をする議会。…を議会の3つの原則とする一方、議会基本条例の制定はあくまで「形式的な改革にすぎない」ものであり、「議会改革によって住民福祉の向上につなげる必要がある」と仰っています。

### ◆新体制のもと、一丸となり取り組み

我々、早島町議会でも、町民との『情報共

有化』のため、議案や協議資料、会議後の報告書：etc。だけでなく、個々の議員の活動を評価できる情報（例えば政策立案等）を提供していく所存です。

また、『住民参画』のための議会報告会

や意見交換会だけでなく『議会モニター制度』による議会への参画の推進。

更には、議会機能強化のため、議員間討議や委員会調査活動といった根源・根幹部分の議会の『質的な充実』に、平岡議長・根木副議長新体制のもと、議会が一丸となり、皆さまの付託にお応えすべく全力で取り組んでまいります。

【所管事務調査】各常任委員会で、その課に属する事務に関しての調査のこと。各常任委員会が自主的にテーマを決めて、調査を行います。

▼総務厚生常任委員会（総務、健康福祉、町民、税務）

▼産業文教常任委員会（建設農林、まちづくり企画、上下水道、学校教育、生涯学習）



モニター会議での意見交換



# 質問 一般

## 問 早島町として環境省提唱の ゼロカーボンシティ宣言は

## 答 二酸化炭素排出実質ゼロを目指す 宣言をした



根木 一 議員

**問** 前回の質問で、早島町としてゼロカーボンシティ宣言を要望した結果は。

**答 町長** 岡山連携中枢の8市5町の市町村が、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す宣言をした。

**問** 家庭における二酸化炭素の削減で、スマートエネルギー導入促進事業補助金の増額要求は、予算案で増額となっていました。

**答 町長** 地球温暖化対策の一環として、省エネルギー対

策や再生可能エネルギーの導入に取り組みでいく。

**問** 2030年の目標達成と掲げられているSDGs持続可能な開発目標に対する、行政の今後の取り組みについて。

**答 町長** 現在第5次早島町総合計画を策定している。個別の政策で目指す水準の設定や進捗管理に際し、SDGsを活用して達成に向け取り組んでいく予定。

総合政策の策定に当り、庁内42人の職員で委員会を組織し、

職員手作りの総合計画として、自分の担当業務とSDGsとの関係が分かりやすくなっている。

**問** 職員の名刺や各課の看板に、SDGsのアイコンを書き込むよう要望する。

**答 町長** これから研究していきたい。

**問** 政府は、持続可能な開発目標推進本部を設置しているが、町の体制は。

**答 町長** まち・ひと・しごと創生推進本部で行う。

**問** 持続可能な開発目標推進条例をつくらないのか。

**答 町長** 制定まで考えていない。

### 地域包括ケアシステムの構築

**問** 高齢者は2025年には推定人口で3,560人となり、現在より110人の増となる。生活支援はどのように考えているのか。

**答 健康福祉課長** 本年3月から外出付添い事業を試行している。今後とも、地域の現状により各種事業に取り組んで行

く。  
**問** 地域包括支援センターの体制は。

**答 町長** 2025年に高齢者数がピークとなるが、現在の人員で、業務を行う。

**要望** 4月1日に地域共生社会の実現のための社会福祉法・介護保険法・老人福祉法等が改正され、包括的な支援体制の構築等が列挙されている。誰一人置き去りにしないことを目標に地域包括ケアシステムの構築をお願いする。

#### 早島町二酸化炭素実質ゼロ宣言

世界中が地球温暖化による危機的な状況にあります。SDGsの目標13では、気候変動に具体的な対策を打つことを課題として示しています。

早島町においては、地球温暖化対策の一環として、これまでに省エネルギー対策、再生可能エネルギーの導入に取り組みました。公共施設への太陽光発電の設置、照明器具のLED化、高効率空調設備等への切り換え、防犯灯のLED化などを実施しました。現在は、個人の住宅にスマートエネルギー設備等の設置を促進するための補助を行っています。また、フードドライブを活用した、資源の有効利用、焼却ごみの削減を始めたところです。

先日、私は大変嬉しい経験をしました。幼稚園、小・中学生の子どもたちが学習活動の成果を発表し、町政に提言する子ども議会の場で、多くの子どもがSDGsについて学び、町や地球規模での地球温暖化、環境問題について自ら考えたことを生き生きと発表してくれました。とても頼もしく思うとともに、この子どもたちと共に早島町の良い環境を残していかなければならないとの思いを強くしました。

早島町は、町民の皆様が、住んでいてよかったと思えるまちづくりを行っており、地球温暖化対策をさらに推進し、「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す」ことを宣言いたします。

令和3年2月2日

早島町長 中川 真寿男



真鍋 和崇 議員

## 問 あいつぐ不祥事 なぜ発生したのか

## 答 会計事務に関する責任所在が不明確だった

### 不明確だった

**問** (昨年、町内NPOの準公金を職員が着用した問題について) 町長が就任をされてから5度目の不祥事だ。なぜ発生したのか。

**答** 町長 関係団体、町民に多大な迷惑をかけ、深くおわびする。会計事務に関する責任所在が不明確

**問** 健康福祉課長 健康福祉課長

**問** 令和8年以降に

**問** 教室不足について

**答** 校長 事業継続・展開の新たな取組を支援する。

「コロナ対応のために間仕切りされた特別支援教室」

小学5・6年生を中学校に移す案を示した。

数十億円とも想定をされるコスト等、様々な問題点が指摘をされている。

議会に示された有識者の「提言」では、「納税者から見た評価」との指標がある。

これは納税者が「そう思うだろう」と考えた「想像」の評価ではないか。

**答** 教育長 原案は(教育委員会が)作成し、それを関係者に確認した。

**問** 教室不足について

これまで何度も指摘してきたが「教室不足はない」と答弁してきた。

今年度の教室増に

どう対応するのか。

**答** 学校教育課長

コロナ対策で実施した支援学級の間仕切りで生まれた空き

教室を活用する。

**問** コロナがなければ新入生を迎えるのに教室が足りない異常事態だった。

なぜ放置してきたのか。現3年生や支援学級などで教室が

いっぱい状況が続く。さらに児童数の増えるであろう小学校。どう対応するのか。

**問** 教育長 検討はしてきた。

現在の教室数で対応できる。

**問** コロナの影響をうける町民、町内業者への支援を

**答** 町長 事業継続・展開の新たな取組を支援する。

**問** コロナ感染拡大を防止し町内業者と町民の暮らしを維持する決意を。

## 問 災害緊急情報アプリの

## インストールは

## 答 高齢者の集会等の機会などで

## 周知していく

**問** 災害時の緊急情報をスマートフォンで受信できるシステムが出来たが、町民にどの様に周知するのか。

**答** 町長 性があると思われるが、対策は考えているのか。

**問** 防災行政無線の音声の不感地帯について

**答** 町長 防災行政無線の拡声の不感地帯は、いまだに対策がない。スピーカーの増設など、町民の生命に関わる事、後手に回らない様に進めていただきたい。

3月の広報誌にアプリをインストールするためのQRコード掲載があるが、若い世代には安易だが、年配の方には手助けをしていく必要

**答** 町長 スピーカーの増設はこれか

**問** 防災行政無線の拡声の不感地帯は、いまだに対策がない。スピーカーの増設など、町民の生命に関わる事、後手に回らない様に進めていただきたい。

**問** 防災行政無線の拡声機能を利用しての注意喚起について

**問** 早島町の管理するため池について

**問** 時期によっては藻、ヒシなどの影響で悪臭を放っている。特に住宅と密接している山川池、ひょうたん池など対策はどうするのか。

**答** 町長 緊急度、重要度など精査してお知らせできる情報は提供できるように検討していく。

**答** 町長 現在9か所管理については堤体の草刈りや水位の管理等、土地改良施設として適正な維持管理に努めている。

**答** 町長 山川池については令和3年度ヒシ除去の予算を確保している。令和4年度に浚渫を行う予定だ。



平岡 守 議員

**問** 倉敷ケーブルテレビとの防災協定はどこまで進んでいるのか。

**答** 町長 4月の締結に向けた手続き等現在双方で行っている。





佐藤 博文 議員

## 問 庁舎内コンプライアンスと 内部統制の確立は

## 答 職員の資質向上及び コンプライアンス強化に努める

**問** 公金等のコンプライアンスの確立は。

**答 町長** その都度、今までも修正してきた。

**問** 近隣市町村と比較しても突出して高いのは。

**答 町長** 医療費水

**答 町長** 必ず複数の職員で事務を担当する規定とともに、所属長や会計管理者による日常的なモニタリングを制度化する。

その積み上げが現在の早島町組織であり、抜け落ちたところを補いながら今後、さらなる内部統制の強化を図る。

準が高いことと所得水準が高いことから納付金の額が高くなり、その財源となる国保税の税率が高くなっている。

**問** たびたび起こる不祥事に対する内部統制の確立は。

### 国民健康保険特別会計について

**答 町長** 基金の使用

途というのは、条例で納付金の納付に要する費用、保険事業に充てる費用、その他財政上、必要が生じた場合と規定されており、保険税率を下げるための繰り入れというものは想定されていない。

**問** 基金を取り崩しでの保険料減額は。

**答 町長** 安定的に

運用するには、ある程度の基金を持って運用させて頂きたい。それよりも医療水準が上がらない仕組み作りが一番大切なことだと考える。

### 「新型コロナウイルス」接種の流れについて

**問** 接種の開始時期と優先順位は

**答 町長** ワクチン

の供給があり次第、接種を開始する。現時点では未定。優



先順位は65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する者から始める。

る。対象者に接種券と予診票を郵送する。

**問** 接種の受け入れ体制と、それまでの簡単な流れは。

**答 町長** 病院や診

療所等で行う個別接種と町が設置する集団接種を予定してい

**問** 副反応・副作用の障害を負った場合の対応は。

**答 町長** 接種との

因果関係が認定されれば救済給付を行うための健康被害救済制度を活用する。

## 問 何時までかかる水路整備、

### 今後の改修計画は

## 答 令和3年度から5年で665m施工、

### その後は、財政状況を見ながら

**問** JR瀬戸大橋線以南の「どこが水路で、どこまでが農地なのか区別できないぐらい大変ひどい状態である水路」の整備について、今後の全体改修計画は。

**答** 町長 幹線水路から順次整備を進めているところであり、令和3年度から7年度までの5カ年に665mの施工を計画している。その後につきましては、財政状況を見ながら検討する。

**問** 10年を経過した第4次早島町総合計画の結果を評価し、改善・検討した第5次総合計画の営農環境整備は。

**答** 町長 基盤整備の遅れについては、農作業の軽減化による生産性を高め、強い農業を構築する上での課題となっており。早島町の取組は、基盤整備には相当の時間と経費が掛かることから、平成24年度に作成した「人・農地プラン」の実質化に向け、その改訂

に取り組んでいる。早島町における農業の集約・集積を図り農作業の省力化を図っていく。

**問** 農業振興には、町がリーダーシップを発揮し、農業従事者と一体で推進することが重要である。建設農林課の業務量、職員数、職員の専門知識等を考慮し、組織体制を見直しはどうか。

**答** 町長 100名程度の正職員と会計年度職員でいろんな課題にみんな頑張っている。大幅な人員増加は非常に難しい。

元住民は大変不安を感じている町道の早急な整備は。

**答** 町長 路面や安全施設の整備は重要と考え、令和3年度道路維持費を1,000万円増額し、道路整備や交通安全施設の修繕、更新に努める。

**問** 県道早島吉備線から官舎への侵入道路は、主に町道として

機能しているが、南岡山医療センターの財産であり、路面の老朽化が著しく激しい。南岡山医療センターと交渉したのか、また、交渉結果は。

**答** 町長 平成29年度に公文書で道路整備要望書を提出、今年度協議したが明確な答えが出ていない。



林 郁夫 議員

### 町道の早急な整備を

**問** 町道は、朝・夕の通過車両、大型車両の通行量増大、車両の高速化、路面崩壊・老朽化により地



「老朽化が著しい県道から官舎への進入道路」

## 問 第五次総合計画のビジョンと主な施策、事業は

### 答 駅と駅周辺の新定住促進地域の整備により 魅力あるまちづくりを目指す



細田 貴道 議員

**問** 総合計画は早島町の将来にとって最も基本となる重要な計画であり、町民にとっても大変関心の深いものである。現在策定中の第五次総合計画において早島町はどのようなように変わっていくのか、また、その目玉となる施策、事業はどのようなものがあるのか、町長のビジョンを問う。

**答** 町長 第五次総合計画は本年9月末の策定を予定している。その中心となる施策はJＲ早島駅及び役場周辺における土地利用の転換による新定住促進地域の整備である。駅・役場周辺と計画道路の沿道で新たな住まいや暮らしに便利な施設が立地し、そこには歩いて暮らせる環境を求めて町内外から人が移り住み、人々が話し、笑顔あふれる、賑わいのある様子を思い描いている。この定住促進地区においては、将来に渡り早島町全体の成長を牽引するような

魅力あるまちづくりを展開する。JＲ早島駅のエレベーター、屋根付き跨線橋と併せ、住民交流や買物支援施設を一体的に整備することにより、町の玄関口のイメージアップ、地域の魅力、町のブランド発信につながる地域再生拠点の核となるよう事業に着手した。

**問** 将来の計画を立てる上で、外部有識者の意見は重要であるが、反面、町内情を知らないという問題点もある。

**答** 総合政策監 早島町は立地もよく、税金や水道代も近隣より安く、企業も人口も増えていくという大変恵まれた環境にあるためか、町民や町職員それぞれが別の方向に向かって走っている印象があり、なかなか前に進めていないのではないか。

第五次総合計画で早島町の進むべき道が示され、その意義が共有されれば、恵まれた環境を生かして大きく飛躍できる町だと感じる。

また、地方創生のソフト事業を通して町内外に情報発信することも不可欠。引き続き地域再生

計画の推進への協力をお願いしたい。

#### その他の質問

#### ◆指定管理者制度の導入促進について

民間のノウハウを活かし、より町民の利便性を向上させると同時に、町の財政負担を軽減させる指定管理者制度の導入を加速すべきである。

#### ◆義務教育学校の構想について

財政的な妥協案である「5・6年生のみ」を現在の中学校に移転させることはデメリットが多い。教育的見地からみて理想的なのであれば「小中一体型義務教育学校」を目指すべき。それに伴う財政計画を長期的に検討すべきである。

## 問 公衆無線LAN（情報インフラ）の見直しを

## 答 各施設のカバーエリアの詳細等、解かり易い工夫をする



佐藤 智広 議員

**問** 平成21年に設置したhaya wireless。平成30年9月には、これに替わりOkayama Free Wi-Fi Lite（以下岡山Wi-Fi）が整備された。現在は、早島町福祉センター、さつき荘、いぶき荘、西コミュニティセンター、中央公民館、ゆるびの舎、いかしの舎、観光センター他13か所に設置されている。

**答** 町長は現在設置されている岡山Wi-Fiを実際に使ってみたのか。また、使ったのであればその評価は。 **町長** いわゆる利用した程度で、実証実験をしたわけではない。

**問** 現在の通信速度で満足できる？ **町長** 現在の通信速度は満足できるレベルなのか。 **課長** 図書館や公民館での利用者の声を聞くのと、つながりにくいのであまり使っていないという、声が圧倒的だった。また、1日に30分8回利用できることだが、スマホ等がスリープ（省エネモード）になると30分経たず通信が途絶えてしまう。こうした状況について、どう考えているのか。

**問** 3月の広報紙に「町内13施設で公衆無線LANサービスをご利用ください」とあるが、実際には、施設内でもつながる場所が限定されている。形式的な通信インフラ整備というふうにしか取れない。 **答** まちづくり企画課長 今回のメニューで、岡山Wi-Fiスポットのカバーエリア等、解

かり易くすることが必要であると感じた。速やかに着手する。

一般的なWi-Fiのスピードの目安は70Mbps（メガビットパーセコンド）といわれている。ウェブ会議等でビデオチャットを円滑に行うために必要な速度が30～60。ポケットWi-Fiの通信速度が約50。WiMAXの通信速度が60Mbps

施設名	13:30	17.4	28.0	20.0	ping
いかし(カウンター)3/2	13:30	17.0	24.4	21.0	19.1
いかし(入口)3/2	13:30	11.2	19.6	20.0	18.0
公民館2/28	16:30				
公民館(PC)2/28	16:30	17.7	24.5	21.0	16.9
公民館(2Fwi-fi)2/2	10:30	14.3	27.0	20.0	11.6
公民館(2階)2/2					14.3
公民館(PC)3/2	10:30				18.8
公民館(2Fwi-fi)3/2	10:30	11.2			93.4
公民館(2階)3/2	10:30				
観光センター(wi-fi)平均					8.7
小学校(中央)		20.2	39.6		
小学校(南端)		14.7	31.6	22.0	
小学校(入口)		14.6	26.6	21.0	
幼稚園(遊戯wi-fi)					
幼稚園(2Fwi-fi)					

「下り」速度の一般的な目安

メールやSNSのメッセージ受信(画像等が無いもの)⇒~1。WebサイトやSNSの閲覧⇒~20。動画視聴(YouTubeなど)⇒30~。オンラインゲーム⇒~100(単位はすべてMbps=メガビットパーセコンド)

## 問 説明責任、費用対効果(便益)について 適格な答弁を求める

### 答 大規模事業については費用対効果を考慮して実施している



佐藤 辰美 議員

#### 事業仕分けについて

**問** 費用対効果(便益)が一・〇以上の評価が必要である、との国の基準をご存知か。

**答 町長** 本町では、事業仕分けではないが、JR早島駅周辺整備などは、本町財政規模からして大規模な事業については議員の皆様にお諮りし、設備の必要性や、費用対効果を考えた中で実施している。

#### 流通団地ポンプ場整備工事と関係法律等について

**問** 建築基準法、消防法、電気事業法等起案書及び入札関係文書等に明記されているか。

**答 町長** 事業実施を行う中で、その時点で法律に基づく必要な手続きは起案等を作成し実施している。

#### 駅バリアフリー化計画について

**問** 費用対効果(便

益)について問う。

**答 総合政策監** 便益は40年間で約2億800万円である。(国土交通省の基準一人当たり二円で利用客を一日当たり千二百人として計算)投資予想額は約13億円である。

また、その他の買物支援設備での効果(便益)は試算していない。

#### 防災無線について

**問** MCA方式との比較について。

**答 町長** 導入に際しては、災害発生時に電波の集中による輻射を少しでも避けるため、MCA方式は採用しなかった。

**問** 拡声器で聞こえない地区はあるのか、また、その対策は。

**答 総務課長** 拡声

器での放送が聞こえない地区があるが、今年度はスマートフォンアプリを利用する手法を考えている。

#### 排水機場の整備について

**問** 排水機場の整備では非常用発電機の整備を県に対して強く要望することを求める。

最近の地球温暖化による豪雨災害を前提として、非常用の発電機が必要でないならば、その理由を明確にすることを求める。

**答 町長** 排水機場の仕様については、事業主体が県であるが、大雨等により浸水被害が生じやすい本町に

としては排水機場の稼働は命綱であることから、設計に際しては、しっかりと町の意見を伝えるなど十分協議を行いながら実施していく。

**答 建設農林課長** 長寿命化を主体とした整備計画であり、令和3年度に設計に着手するが、費用対効果を検証しながら実施する。非常用発電機の設定は整備費用が高額となるため、今回の計画にはない。



弁才天排水機場



# 早島町議会構成

予算審査常任委員会	
委員長	根木 一
副委員長	林 郁夫
委員	船越 健一
委員	古田 敬司
委員	佐藤 智広
委員	真鍋 和崇
委員	細田 貴道
委員	佐藤 辰美
委員	佐藤 博文

議会活性化特別委員会	
委員長	根木 一
副委員長	細田 貴道
委員	船越 健一
委員	平岡 守
委員	古田 敬司
委員	佐藤 智広
委員	真鍋 和崇
委員	佐藤 辰美
委員	林 郁夫
委員	佐藤 博文

総務厚生常任委員会	
委員長	林 郁夫
副委員長	真鍋 和崇
委員	平岡 守
委員	佐藤 智広
委員	佐藤 辰美

産業文教常任委員会	
委員長	細田 貴道
副委員長	古田 敬司
委員	船越 健一
委員	根木 一
委員	佐藤 博文

議会運営委員会	
委員長	林 郁夫
副委員長	細田 貴道
委員	古田 敬司
委員	真鍋 和崇
委員	根木 一

## 投稿募集

早島町議会だよりでは、皆さんが撮影した写真やコメントの投稿を募集しています。  
**（表紙の写真も募集しています。）**

### ▽応募規定

- ① 町内で撮影された写真
- ② サイズはカラープリントの場合は2Lサイズ以上。  
デジタルデータの場合はファイルサイズ5MB以下（表紙の写真の場合は1200万画素以上）
- ③ 未発表のもの

### ▽応募方法

- ① 作品（1人1点）には左記の事項をご記入ください。  
住所・氏名・作品のタイトル、コメント（50字以内）
- ② 郵送の場合は、返却希望の有無もご記入ください。  
デジタルデータの場合は、メールに添付の上お送りください。

### ▽その他

- ① 議会だより掲載時には、作品のタイトル、住所（町名まで）、作者名を掲載させていただきます。
- ② 人物が特定できる場合または個人の所有物である場合は、必ずご本人の承諾を得てください。（肖像権や著作権に関して、一切の責任を負いかねます。）
- ③ 採用された作品の使用権は、早島町議会広報特別委員会に帰属します。  
また、使用にあたり加工させていただく場合がありますので、ご了承ください。  
また、記念品等はありませんのでご了承ください。

**応募先**：早島町前湯360の1  
早島町議会事務局 議会広報宛

gikai@town.hayashima.  
lg.jp

# \わが町の/ ニューフェイス



Q1: どんなお仕事をされていますか  
Q2: 今後の抱負をお願いします



**水田 裕文** 整備計画室 室長  
みずた ひろふみ

- ①総務課整備計画室で主に地方創生推進交付金に関する業務を担当しています。
- ②一日でも早く早島町の力になれるよう努力してまいりますので、ご指導の程よろしくお願いたします。



**田尻 将樹** 税務課 主事  
たじり まさき

- ①税務課で主に軽自動車税に関する業務を担当しています。
- ②今はまだ上司の方々に頼りっぱなしですが、今後は少しでも負担を減らすことができるようしっかりと自分の業務をこなしていきたいです。町民の方々が安心・安全に暮らすことができるよう頑張りますのでよろしくお願いたします。



**村木 美晴** 生涯学習課 課長  
むらき よしはる

- ①教育委員会の生涯学習課に配属になり、生涯学習のまちづくりを目指しています。
- ②生涯学習課は、町民の皆様と協働で行う多くのイベントを実施しています。皆様と共に生涯学習のまちづくりを推進していきたいと思ます。

## 議会事務局職員が変わりました

5年間議会事務局でお世話になりました。

議会事務局では議員の方々を通して、町民の皆様のさまざまな声に触れることができました。

今後もこの経験を活かしていけるよう努力してまいります。ありがとうございました。



学校教育課 主事  
**藤井 夏樹**  
ふじい なつき

4月に総務課から異動してまいりました。町民の皆様に近い開かれた議会づくりのため、議会活動をサポートしてまいります。よろしくお願いいたします。



議会事務局 主任  
**赤堀 俊輔**  
あかほり しゅんすけ